

子育て支援センター



梅野よしみ 保育士

Child Care

# 「ひまわりのたね」だより

【問合せ先】子育て支援課 子育て支援係 ☎65・0081

## 子どもたちに気づかされて

4月の始め、この春はじめて保育所へ通い始めた親子が、ひまわりのたねに寄って「保育所ではずっと泣いていたそうです。」と言うので「お母さんも泣きたい気分よね。」と言うと深くうなずき「すれ違うお母さんたちも涙目でしたよ。」と話していました。今頃は親子共々慣れて、この連休で一休みできることでしょう。ことばがなかなか出ない子が少しづつ出るようになって話してくれるのはうれしいのですが、上手く聞き取れないことも多くて、その子は伝わらないもどかしさから強い口調に・・・そんな時、その子の姉が妹のことばを伝えてくれます。妹はそばで、そうそう、と言うように表情が緩みます。ごめんねと思いつながらお姉ちゃんさすがだねと感心します。また、みんなの中で話せない子が、近頃小さい声ですが、こんにちば・さようならを言うようになり、言っ

た後にホッとしたような笑顔が出ます。言えてよかったねと私もホッとします。お母さんは生まれた瞬間から話しかけています。あやしたり、ほめたり、叱ったり数々のことばを聞いて子どもはことばを覚えていきます。ことばの出るのが早い遅いはあるけれど、子どもたちは何とか気持ちを伝えようとしています。その気持ちに寄り添っていきたくて思うのです。子どもたちとかわる中で、いろんなことに気づかされる毎日です。



「別々の幼稚園に行き出したけどここで会えるね！」

### 子育て支援センター「ひまわりのたね」

- 【開館】月～金曜日 9～16時
- 【場所】総合福祉センター「ひまわりの里」内
- 【対象】0歳から未就学の子どもの保護者  
※利用には保護者の付き添いが必要です
- 【利用料】無料

Human Rights

# 人権だより



山路敦子 館長

【問合せ先】桂川町人権センター ☎65・1187

## 新年度スタートして1か月…慣れたかな？

新一年生が大きなランドセルをしょって通学している姿を見ると、何ともほほえましく感じます。それぞれ新しい環境の中、期待と不安でいっぱいだったでしょうね。

私たちのまわりにはいろいろな人がいます。すぐに友だちができる人、なかなか馴染めず環境に慣れるのに時間がかかる人などさまざまです。みんな顔も考え方も違う人たちの集まりの中で暮らしています。自分を基準に考えると、「あの人は変わっている」「あの人は違う」などと思ってしまうがちです。

金子みすゞの「私と小鳥と鈴と」という詩を知っている人は多いと思います。この詩のように、いろいろな人がいて当たり前。自分自身を基準に考えるのではなく、自分にもないものをもっている人に出会ったと思うと得した気分になりませんか？

### わたしと小鳥とすずと

金子みすゞ

わたしが両手をひろげても、お空はちつともとべないが、  
とべる小鳥はわたしの<sup>じべた</sup>ように、地面をはやくは走れない。  
わたしがからだをゆすつても、きれいな音はでないけど、  
あの鳴るすずはわたしの<sup>じべた</sup>ように、たくさんうたは知らないよ。  
すずと、小鳥と、それからわたし、みんなちがって、みんないい。

◆桂川町ホームページ施設案内に、「人権センター」を追加しました。是非、ご利用ください。